

売上は減少、営業利益は微減

- 中国市況等の影響により各事業ともに売上高は前年同期比減少
- 中期計画達成に向けた先行投資は計画通り実行
- 収益性は原価低減及び販管費コントロールにより向上

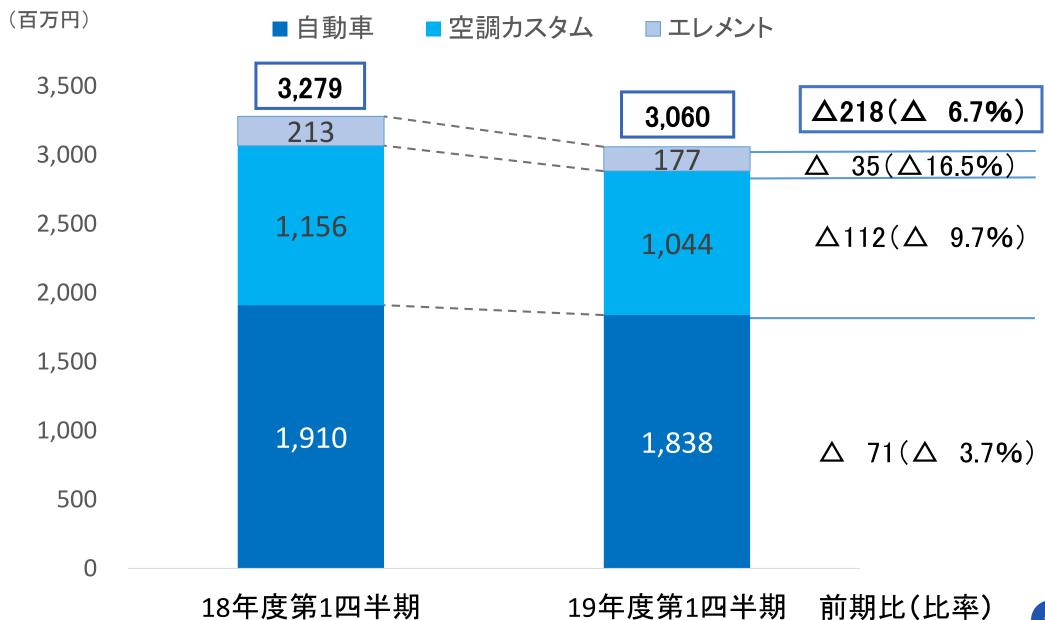
年度予想に対しては堅調に推移

- 営業利益・純利益は年度予想に対して30%超の進捗
- 今期業績予想は市場環境・為替見通しに鑑み据え置き

単位:百万円

	18年度第1四半期		19年度第1四半期		
	実績	構成比	実績	構成比	前年同期比
売上高	3,279		3,060		△6.7%
営業利益	209	6.4%	208	6.8%	△0.4%
経常利益	262	8.0%	176	5.8%	Δ32.7%
当期純利益	158	4.8%	150	4.9%	△4.8%

事業別売上高



事業別概況

事業	概況
自動車	● 中国市況悪化の影響により売上高は前年同期比微減
	● 欧米向けの環境規制対応品が増加
	● 電動化領域の売上が伸長も(前年同期比+162%)、中国市場ではNEV*補助金低減により6月以降の売上トレンドに減速感
空調・カスタム	● 空調は東南アジアの需要が引き続き堅調、前年同期の特需 分及び中国の減少分をカバー
	● カスタムは中国市場向け工作機械の受注減継続により減少
エレメント	● 既存品は中国市況の悪化影響から売上が減少
	● 5G関連半導体レーザー用の在庫調整が一服、回復の兆し

^{*:}新エネルギー車(New Energy Vehicle)の略で、EV、FCV、PHVが対象

損益計算書

- □ 原価低減、経費抑制により、売上総利益率、営業利益率が前年同期比向上
- □ 前年同期は中国子会社の配当により税金が発生、今期は配当未実施のため法人税等が減少

(単位:百万円)

	18年度		19年度		
	第1四半期	構成比	第1四半期	構成比	前年同期比
売上高	3,279	100.0%	3,060	100.0%	△6.7%
売上総利益	681	20.8%	660	21.6%	△3.1%
営業利益	209	6.4%	208	6.8%	△0.4%
営業外収支	53	1.6%	△32	△1.0%	
うち、支払利息	△13	△0.4%	Δ16	△0.5%	
うち、為替差損益	51	1.6%	Δ2	△0.1%	
経常利益	262	8.0%	176	5.8%	△32.7%
法人税等	△104	△3.2%	△25	△0.8%	
当期純利益	158	4.8%	150	4.9%	△4.8%

(単位:百万円)

貸借対照表

□ 海外子会社へのIFRS適用により賃借資産を固定資産、有利子負債(リース債務)に140百万円計上

◇資産の部

		19年3月	19年6月	増減
流動資産		6,192	6,226	+33
	現金預金	1,448	1,522	+74
	売上債権	2,493	2,416	△76
	棚卸資産	2,123	2,193	+70
	その他	127	93	△33
固	定資産	2,735	2,981	+245
	有形固定資産	2,393	2,611	+217
	無形固定資産	60	80	+19
	投資その他	280	289	+8
資産合計		8,928	9,207	+279

◇負債・純資産の部

◇貝債・純貨産の部・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・				· 11/21/1/
		19年3月	19年6月	増減
流動負債		3,169	3,441	+272
	仕入債務	1,244	1,442	+198
	有利子負債	942	1,118	+176
	その他	981	880	Δ101
固定負債		3,558	3,558	Δ0
	有利子負債	2,737	2,809	+72
	その他	821	749	△72
負債合計		6,727	7,000	+272
純資産合計		2,200	2,207	+7
	株主資本	1,957	2,041	+83
	その他	242	165	△76
負	責•純資産合計	8,928	9,207	+279

19年度業績予想

- □ 19年度第1四半期の実績は堅調に推移、営業利益・純利益は年度予想に対し30%超
- □ 中国市況等不透明な市場環境・為替見通しに鑑み、19年度業績予想は据え置く

単位:百万円

	194	丰度	19年度第1四半期		
	予想	構成比	実績	進捗率	
売上高	12,889		3,060	23.7%	
営業利益	641	5.0%	208	32.5%	
経常利益	602	4.7%	176	29.4%	
当期純利益	429	3.3%	150	35.2%	

注意事項

この資料に掲載されている、株式会社大泉製作所の現在の計画、見通し、戦略などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであります。これらは、現在入手可能な情報から得られた株式会社大泉製作所の経営者の判断に基づいており、内容の正確さについては細心の注意を払っておりますが、掲載された情報の誤りによって生じた障害等に関しまして、当社は一切責任を負うものではありませんのでご了承ください。投資に関する決定は利用者ご自身のご判断において行われるようお願いいたします。

センサで世界を測る、未来を拓く。



IR お問い合わせはホームページからお願いします。

http://www.ohizumi-mfg.jp/contact/